

先輩職員にインタビュー！①



建設部 建設課 地域再生推進担当
(平成22年入庁 14年目)

業務内容は？

生活に欠かせない道路、河川、橋梁等をはじめ、住民の憩いの場である公園整備といった生活に密着した施設整備、維持管理のほか、町の未来を考える都市計画施策の検討、土地の境界の確認など、様々な分野で、町の土台となる業務を行っています。

入庁当初の志望動機は？

高専にて土木を専攻したのち、他県でインフラ整備の設計、管理に携わっていましたが、結婚を機に、新たな地で今まで学んだ経験を活かした仕事に再就職したいと考え、入庁を決意しました。

仕事のやりがいは？

住民の方から直接要望を頂くことが多い課であり、対応に苦慮する場面もありますが、職場の仲間と現場を確認し、相談を重ねながら解決できた時は、大きな達成感を感じます。そして何よりも、住民の方から直接感謝の言葉を頂いたときは、非常に嬉しく、今後の業務の糧となります。

職場の雰囲気は？

幅広い年齢層の住民の方からの意見、要望が多いため、対応策も様々ですが、課内には、経験豊富な諸先輩が多いことに加え、各々の考え方、捉え方について、とことん意見を出し合い、自分の意見もきちんと聞いてもらえる雰囲気は、非常にやりがいを感じられる環境です。

ワークライフバランスは？

子どもが小学校低学年で、学校行事等と仕事をまだまだ両立させていかなければなりません。職場の同僚、上司の方々が状況を非常によく理解していただけるので、計画的に休暇を取得することができ、ストレスなく仕事とプライベートのバランスがとれています。

受験者にひとこと！

建設課は、道路、河川、公園への要望といった生活の基盤となるものが多く、併せて、住民の方と直接触れ合う場面も多いところですが、その中で、自分の意見が実際にカタチになり、感謝の言葉を頂けたときはとてもやりがいを感じる場所です。

先輩職員にインタビュー！②



水道部 水道課 下水道工務担当

(平成26年入庁 10年目)

業務内容は？

主要な業務は、下水道未普及区域の下水道整備です。国の交付金の申請や下水道整備区域の計画、調査、設計、工事監督が主要業務です。その他に下水道の維持管理(修繕工事など)や下水道の水質管理となります。

入庁当初の志望動機は？

入庁前は、ゼネコンで勤務しておりました。勤務地が茨城県鹿嶋市で、東日本大震災に遭い、被災地復興工事などに携わりました。この経験で、地元貢献という思いを強く持ち、私の地元である笠松町で、これまでの経験を活かし、地元貢献がしたいと思い志望しました。

仕事のやりがいとは？

生活する上で必要不可欠なライフラインを支える仕事が水道課の業務です。どんな些細な仕事でも住民の生活に直結する仕事であるため、全ての仕事にやりがいを持って従事しています。そして、我々の仕事は、計画から工事発注する立場で、決して仕事を受ける側ではありません。自分から積極的に物事進めていかなければ、何も始まりません。その分、責任感を持てる仕事でもあります。

職場の雰囲気は？

一言で表すと、緊張感のある職場です。それは、水道業者や住民、建築会社など常に問い合わせの電話や窓口対応が絶えない職場だからです。また、水道料金や下水道使用料を徴収し経営している公営企業でもあるため、民間企業に近い雰囲気がある職場だと思います。ただし、少人数で比較的、若い職員で構成されているため、時には談笑もあり活気のある職場です。

ワークライフバランスは？

水道課職員各々が担当業務を持ち、仕事に慣れさえすれば、自分の裁量で業務を進められ、年次有給休暇もしっかり取得できます。土日を絡めて3連休にすれば、小旅行にもいけます。私の場合は、子供たちと車中泊やBBQをして、心身のリフレッシュをし、仕事の活力にしています。

受験者にひとこと！

水道課の仕事は、24時間365日、どこかで何かが起きる職場だと思ってください。それがライフラインを支える仕事で、正直に言って忙しく、辛い仕事もあります。同時にやりがいも実感できる仕事です。やる気に満ちた方、大歓迎です。一緒に笠松町のライフラインを支えましょう。

先輩職員にインタビュー！③



業務内容は？

母子手帳の交付や赤ちゃん訪問、子どもの教室・健診などの母子保健事業を行っています。

入庁当初の志望動機は？

保健所や病院など保健師の働く場は他にもありますが、町の保健師は、住民の方の生活により近い位置で長く関わることができることに魅力を感じました。また、幅広い世代の健康づくりに携わる仕事がしたいと思い志望しました。

仕事のやりがいとは？

どのような教室や制度があると子育てがしやすいかを考え、教室を展開することができます。教室や健診を通して、子どもの成長が見られた時はやりがいを感じます。また、多職種と関わることができるため、様々な視点から物事を考えることができ、自身のスキルアップにもつながります。

住民福祉部 健康介護課 子育て世代包括支援センター担当
(平成29年入庁 7年目)

職場の雰囲気は？

仕事のことはもちろん、その他のことも気軽に相談できる職場です。保健師同士、仲が良く話しやすいため、常に情報共有しながら、お互い助け合って仕事をしています。

ワークライフバランスは？

忙しい時期もありますが、基本的には自分のペースで仕事ができ、趣味の時間を確保することができます。仕事の調整がついた時は、休暇を利用し家族や友人との食事を楽しんだり旅行をしたりと、充実した休暇を過ごしています。

受験者にひとこと！

町の保健師は、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い世代の方を対象に保健活動を行うため、覚える内容も多く大変なこともあります。町の規模だからこそ実現しやすい保健活動もあります。専門知識を生かしながら笠松町で一緒に働きませんか。